

結核は過去の 病気ではありません



高齢者の結核が増えています



昭和30年頃まで、結核は国民病として恐れられていました。その頃に感染を受けた若い人が今、**高齢**になり、免疫力が低下したところで発症することが多いのです。特に奈良県の南和地域は全国的にみても結核にかかる人の割合が高くなっています。

結核の症状は、かぜとよく似ています。発熱、微熱が続く時は早めに受診しましょう。

こんな症状にご注意！



2週間以上続く
咳・たん
微熱が続く

食欲がない
急に体重が減る



体がだるい
元気がない

こんな人は要注意！

糖尿病、腎不全、透析、リウマチや
ステロイド・抗がん剤治療中の人
昔、結核（肺浸潤、肋膜炎）にかかった人
お酒をよく飲む人 たばこを吸っている人

咳、たん、熱などの症状がない場合もあります。なんとなく活気がない場合なども要注意です。

いつまでも元気で
いてほしいから...

65歳以上の方は
年に1回

必ず結核健診を受けましょう！

